



KISCO 執行役員 包材事業部長  
石川 智弘 氏



KISCOの概要: 1921年創業の化学品や合成樹脂、電子材料などの専門商社。社長は岸本吉則氏。資本金6億円、売上高1037億円(2008年3月期)、従業員数1475名(グループ連結ベース)。材料だけでなく製品加工まで事業を展開。欧米・アジアの12カ国に現地法人を設けるなど積極的に海外展開を進めている。

# 優れたオフィス環境が、

# 社員の創造力を引き出す



SERIES  
01

KISCO 包材事業部  
クリエイティブチーム専用オフィス

オフィスは新しい商品やサービスを考案する空間である。  
いかに社員が仕事に集中でき、働きやすいと感じているか。  
社員のモチベーションを高めるなど、  
様々な観点から企業経営におけるオフィス環境の在り方が問われている。

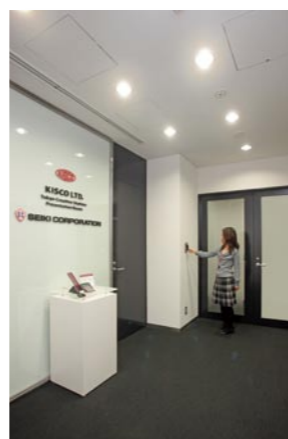
**社員のやる気を刺激する  
オフィス環境を実現**

事業内容や組織の特徴、優秀な人材獲得の推進を考慮し、その部署に合ったオフィス改革を進めようとPMOを選んだ企業がある。化学品や合成樹脂、電子材料などの専門商社であるKISCO(大阪市、岸本吉則社長)だ。

同社では、PMOのスペースを包材事業部クリエイティブチーム専用のオフィスとラゼンテーションルームとして使用。液晶ガラスパネルで仕切ること、明るさと開放感のある空間を確保した。

包材事業部のクリエイティブチームは、営業や技術とは別に、主にスーパーやコンビニで扱う食品容器や飲料ボトルなどのパッケージ全般の企画からデザイン、設計までを担当する部署だ。消費者が実際に手に取る商品パッケージ。いかにお客さまの要望に添ったアイデアやイメージを生み出せるかが勝負だ。

社員は無意識のうちに、制作現場であるオフィスの音や光、臭い、温度などを取り込んだ中でアイデアや商品を創造していく。社員の五感をできるだけ満たすオフィス環



フロア玄関ホールの風景。PMOのオフィスビル全体とは別にフロアごとのセキュリティシステムを完備。部外者や他フロアのテナントの出入りを制限する。

境が、個性を発揮できる。但し、一方でビジネスは組織全体の流れの中で展開される。商品が生まれるためには「貫いたネットワークの力がカギとなる。

KISCOの経営陣は、包材事業部のクリエイティブチームが個々人の能力を発揮しつつ、営業や技術のメンバーとコミュニケーションをとるために、効率よく仕事のできる空間を提供しようと決断。理想のオフィス環境を徹底的に追求し、PMOを選んだのである。

執行役員で包材事業部長の石川智弘氏は「アイデアが求められる仕事は、社員個人の技量が試される。環境の向上によって、社員のモチベーションに与える影響は大きい」と話す。PMOへのオフィスの移転によって、人が歩く動線や互いの視線に配慮した机設備の配置など自由なレイアウトを実現できたことに満足しているという。また顧客をオフィスに迎え、アイデアやデザインと一緒に考える機会も増えたそうだ。

社員の想いになったオフィス環境は、仕事に対するやる気を刺激し、個人の潜在能力を引き出す仕掛けになると言えるだろう。

社員にとって一日の多くの時間を過ごすオフィス。企業の成長に伴い、オフィスに求める役割や規模は変化し増えていく。「社員がいかに心地よく仕事に集中できる空間か」「秘匿性の高い情報を守るためのセキュリティシステムを完備しているか」。オフィスは、単に、仕事をする場、だけでは満たされないものとなる。企業イメージの観点でも、オフィス環境の善し悪しは、優秀な人材の確保、訪問者や来客者の心証にも影響する。

業種や規模を問わず、トップである企業経営者がオフィス環境の在り方を意識することが重要だ。

**大規模ビルの品質で  
プレミアムミッドサイズビルが誕生**

しかし中小ベンチャー企業が、大規模ビルほどではない、中小規模の広さのオフィスビルを探すとすると、選択肢は限られてしまうのが現状だ。

オフィスビルの見た目や機能性を求めると、ワンフロアのスペースが広い、規模の大き

なオフィスビルばかり。中小規模のオフィスビルとなると、セキュリティ設備が整っていないかったり、オフィスのグレードを考えると、妥協せざるをえなかったりするなど、いざ、オフィス環境の改善を実現したくても足踏みをする企業も多いだろう。

そうしたニーズに対応しようと、大規模ビルと同等の機能性やデザイン性、グレードを併せ持つ中小規模のオフィスビルが誕生している。野村不動産が展開するオフィスビルのブランド「PMO(プレミアムミッドサイズオフィス)」(以下、PMO)だ。

シリーズ棟目となるPMO日本橋本町は、天井高が2.7m。天井近くまである大きなガラス窓からは自然の採光があり、明るい空間だ。Low Emissivity(低放射)ペアガラスを採用した窓は、防音性に優れている。ビルの出入りは、PMO専用のICカードによって制限されていて、セキュリティシステムも充実。ビルの外観はテーマカラーをプレミアムブラックとし、シンプルで力強いデザインとなっている。



液晶ガラスパネルの仕切りは電源のON/OFFで目隠しが可能。ホワイトボードとプロジェクターは壁2面で使用できるようにした。今後は、PMOが提供する開放感のある、明るい空間で社内の会議や研修のほか、記者発表や採用活動で利用する予定

CONTACT

野村不動産 [ビルディング事業部]

東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル  
TEL. 0120-888-425 URL. <http://www.pmo-web.com>

野村のPMO 検索



1階エレベーターホールには、ICカードによるPMOへの出入りを制限するセキュリティゲートを設置(右)。白とグレーのコントラストを基調にしたエントランスロビー。オープンでゆったりとした空間の表情を、時間の推移に伴い自然採光と間接光が演出する(左)

